

平成30年度事業計画

公益財団法人 日本消防協会

平成30年度事業計画

公益財団法人 日本消防協会

今年は、自治体消防制度 70 周年であるとともに、日本消防協会設立 70 周年という大きな節目の年である。第 2 次世界大戦後のいまだ混乱がつづく時代に新たなスタートを切った日本消防は、先人が数々の火災、災害と厳しい闘いをくり返して頂いたご尽力により、今日、国民の幅広い信頼を得る存在へと発展してきた。

一方、今日の日本消防は、地球環境の変化によるかと思われるようなさまざまな思いがけない災害の発生があり、また、人口減、少子高齢化などの社会経済の変化、さらには消防に求められる活動の拡大など大きな環境の変化に直面しており、そのようななかで新たな発展をめざさなければならない時を迎えている。

平成 30 年度は、このような状況のもと、前年度にひきつづき、消防団を中核とする地域防災力の充実強化を進めるなど、広範にわたる事業を継続して実施し、消防団の一層の充実発展など、日本消防発展への貢献をめざしていく。

また、日本消防会館については、建築後相当の年月を経て老朽化の進行が見られることを踏まえながら、日本消防の総合的な中核拠点であるとともに市町村自治の発展に貢献することを基本とした新会館建設をめざすこととしている。

I 公益目的事業

公益目的事業として、次の事業（これらに付随する事業を含む。）を実施する。

1. 消防団員等の福祉厚生に関する事業並びに消防殉職者及びその遺族に対する弔慰救済に関する事業

(1) 消防団員等福祉共済事業〔通年〕

消防団員等が死亡し又は障害を受けた場合等に、その家族の生活を守るとともに、消防団員等の福祉を増進する総合的な共済事業を特定保険業として実施する。

- ① 消防団員の全員加入の推進
- ② 消防職員等の加入者増の推進
- ③ 弔慰金、遺族援護金又は入院見舞金等の共済金の支払いの迅速化
- ④ 本共済への加入促進、加入者の事故防止に資する次の事業を附帯業務として実施
 - ・ 健康増進事業（消防団員等への健康指導、都道府県消防操法大会に対する助成金交付（別掲）等）
 - ・ 大規模災害活動支援事業（消防団の大規模災害活動に対する支援等）
 - ・ 殉職消防団員等慰霊事業（全国消防殉職者慰霊祭〔平成30年9月13日（木）〕等）
 - ・ 加入促進等事業（全国消防操法大会、全国消防大会、消防団幹部等特別研修、消防団防災学習・災害活動車両交付、消防団活動情報提供、ラジオ放送「おはよう！ニッポン全国消防団」（以上一部負担）（別掲）等）
 - ・ 全国消防団応援の店（関係者の協力を得つつ、全国の消防団員をサービスの対象にする「全国消防団応援の店」の取組みを推進）

(2) 婦人消防隊員等福祉共済事業〔通年〕

婦人消防隊員等の福祉の増進を図るための共済事業を特定保険業として実施する。

2. 大規模災害の被災地に対する見舞及び支援並びにこれらの斡旋に関する事業

大規模災害活動支援事業〔随時〕

大規模な災害の発生に際し、災害活動の情報収集にあたりるとともに、被災地の消防団へ災害対策支援金等を交付する。

3. 消防活動等の表彰に関する事業

(1) 優良消防団表彰等〔平成31年3月5日(火)〕

全国消防大会において、消防活動等に功績のあった団体及び個人を表彰するとともに、消防防災に関する講演会等を併せて実施する。

(2) 特別表彰〔随時〕

現場功勞のあった団体・個人及び消防業務に特別に功勞のあった者を表彰する。

4. 消防防災に係る記念事業及び大会の開催に関する事業

(1) 全国消防操法大会〔平成30年10月19日(金)〕

全国の消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、もって消防活動の充実発展に寄与することを目的に、富山市において開催する。

なお、大会前日に消防応援団のメンバーも参加し、激励交流会を開催する。

(2) 全国女性消防団員活性化滋賀大会〔平成30年11月9日(金)〕

女性消防団員相互の情報交流等を通じ、女性団員としての視点を最大限に活用して地域防災力の向上に貢献することを目的に開催する。

(3) 全国消防大会（再掲）

(4) 都道府県消防操法大会〔通年〕

都道府県ごとに開催される消防操法大会に助成金を交付する。

(5) 防災推進国民大会〔平成30年10月〕

内閣府、防災推進国民会議及び防災推進協議会の主催により東京都において開催される「防災推進国民大会2018」に事業協力する。

5. 消防防災に係る施設設備及び資機材の充実強化に関する事業

消防団防災学習・災害活動車両交付事業

平時は地域住民等に対する防災指導や防災学習に活用するとともに、災害時には人員輸送や資機材搬送などにも使用できる車両を交付する。

6. 消防団員等の教育訓練に関する事業

(1) 消防団幹部等特別研修事業

① 消防団幹部特別研修〔平成31年1月15日(火)～18日(金)〕

消防団の上級幹部団員を各都道府県より1名選抜し、指導者養成のための特別研修を実施する。

② 消防団幹部候補中央特別研修〔平成31年1月30日(水)～2月1日(金)、2月13日(水)～15日(金)〕

消防団員を各都道府県より選抜し、幹部候補の育成を図るための研修を男女別に実施する。

③ 消防団員指導員研修〔随時〕

消防団員等の教育訓練のための研修事業を都道府県消防協会と連携し、消防団員指導員の養成を行う研修を実施する。

(2) 女性消防団員リーダー会議〔平成30年9月27日(木)～28日(金)〕

リーダー的立場にある女性消防団員の参加により、女性消防団員の役割等に関する課題や問題点等について意見交換等を行う。

(3) 新時代に対応した消防団運営のあり方に関する講座〔随時〕

全国各地へ講師を派遣し、新時代に対応した消防団運営のあり方に関する講座を実施する。

(4) 全国消防操法大会（再掲）

(5) 全国女性消防団員活性化滋賀大会（再掲）

(6) 都道府県消防操法大会（再掲）

7. 地域防災を支える婦人消防隊、少年消防クラブ、自主防災組織等の活動支援に関する事業

(1) 少年消防クラブ活性化推進事業〔通年〕

（一財）日本防火・防災協会が実施する少年消防クラブ指導者研修会の開催等に協力する。

(2) 少年消防クラブ交流会（全国大会）〔平成30年8月1日(水)～3日(金)〕

消防庁主催により浦安市で開催する「少年消防クラブ交流会（全国大会）」に協力する。

(3) 婦人消防隊員等福祉共済事業（再掲）

(4) 全国消防操法大会（再掲）

8. 消防防災思想等の普及徹底及び情報の収集提供並びに雑誌図書その他の刊行頒布に関する事業

(1) 消防団情報提供事業〔通年〕

ホームページの充実を図り、当協会の事業等の広報に努めるとともに、地域防災力の向上に資す

るよう全国の消防団の活動状況に関する情報等を提供する。

(2) 機関誌「日本消防」発行事業〔通年〕

機関誌「日本消防」を毎月発行する。

(3) ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」〔毎週〕

消防団活動を広報し、消防団員の確保等に資するため、消防応援団の皆さんをゲストに迎え、消防団員の出演によるラジオ番組「おはよう！ニッポン全国応援団」（全国30局ネットによる毎週放送）を実施する。

(4) 消防団情報プラザ事業〔通年〕

日本消防会館 1 階の消防団情報プラザを活用し、消防団に関する情報発信を行う。

9. 防火防災訓練につき市町村が行う災害補償等の共済に関する事業

防火防災訓練災害補償等共済事業

市区町村及び組合が防火防災訓練の際における事故について損害賠償又は災害補償を行う場合に、その負担をてん補することを目的とした共済事業を特定保険業として実施する。

10. 消防防災に係る調査研究に関する事業

(1) 地震等防災対策委員会〔随時〕

現地調査を含め、地震等の災害対策のあり方について調査・検討を行う。

(2) 消防団員確保対策等委員会〔随時〕

消防団員の確保対策のあり方等について検討する。

11. 都道府県消防協会及び消防諸団体の事業に対する協力並びにこれら団体の相互連絡に関する事業

都道府県消防協会のほか、殉職消防職団員等の子弟の育英事業を行う公益財団法人消防育英会、消防職団員の福祉厚生の一翼を担う生活協同組合全日本消防人共済会、民間防火組織の育成や防火・防災思想の普及を行う一般財団法人日本防火・防災協会、消防殉職者のご遺族の連絡組織である全国消防殉職者遺族会等に対し、事業協力を行う。〔通年〕

12. 消防防災に係る国際協力に関する事業

(1) 「地域防災を担う人づくり」国際シンポジウム〔平成30年9月予定〕

地域防災の基本は「人」であり、そのリーダー養成については、日本は勿論、世界各国においても真剣に取り組んでいる。その情報を交流し、今後の人づくりの一層の充実を目指すことを目的としたシンポジウムを開催する。

(2) 日中韓消防交流事業

中国及び韓国の消防関係者との交流を深めるため、次の事業を実施する。

① 第34回日中消防協会定期協議会（中国）〔平成30年11月下旬〕

- ② 第32回中国消防視察〔平成30年11月下旬～12月上旬〕
- ③ 第10回日中韓消防協会会議（東京）〔平成30年7月12日（木）〕
- ④ 中国消防協会研修視察団の受入れ〔平成31年2月予定〕

(3) 消防国際交流事業

海外消防事情調査やCTIFの会議等に参加するなど、海外の消防機関との情報交流等を実施する。

- ① CTIF女性消防委員会会議（アメリカ）〔平成30年5月下旬〕
- ② CTIF総会（アメリカ）〔平成30年6月4日（月）～7日（木）〕
- ③ 海外消防事情調査（アメリカ）〔平成30年10月下旬～11月上旬〕

(4) 消防車両等国際援助事業〔通年〕

開発途上国の消防力の充実強化と友好親善を促進するため、日本国内の中古消防車両の無償援助を行う。

Ⅱ 収益事業

引き続き、公益目的事業の補完的役割を担う次の収益事業を実施する。

1. 日本消防会館のホール、会議室等を提供する事業〔通年〕

テナントの確保及びホール・会議室の利用率の一層の向上に努め収益の確保を図るとともに、公益目的事業を安定的に実施していくための基盤となる日本消防会館の改築等に必要な財源の確保に努める。

2. 消防防災に関する出版物や物品を販売する事業〔通年〕

消防防災に関する出版物及び物品類の販売促進に努める。

3. 消防団員等を対象とする積み立て方式の年金事業〔通年〕

消防個人年金事業についてさらなる加入促進を図り、消防団員等の老後の生活の安定と福祉の向上を図る。

なお、加入促進の一環として、消防個人年金海外視察を実施する。〔平成30年6月頃を予定〕

Ⅲ その他

1. 新・日本消防会館の建設

日本消防の総合的な中核拠点であるとともに市町村自治の発展に貢献することを基本とした新・日本消防会館の建設をめざし、その取組みを着実に進める。